

令和4年度事業報告

自令和4年4月1日 至令和5年3月31日

前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により人の集まりや移動が制限される中、オンラインを活用し年度活動方針および事業計画に沿って各種事業を実施しました。

本年度は当協会の願いであった食品包装に関わる幅広い知識や高度な技術を教育する「食品包装学校」を5月に開校しました。33名の受講生全員が所定の成績を修めて「フードパッケージ・スペシャリスト」の称号を獲得しました。

講義はオンデマンドの動画配信で実施され、配信期間内は、何時でも何処でも、何度でも、視聴が可能として受講の利便性を図りました。また、生徒同士の相互交流を目的にオンラインによる講義のフォローアップ、講習生グループによる討議と発表の場を設けたことにより、素晴らしい発表が行われました。

当協会の諸活動のベースとなる会報については、当初の予定通り4回の発行を行いました。オンラインを活用して食品包装セミナーは年に7回、人材育成研修（初級）は12月に3日間、前年度中止した第54回食品包装シンポジウムも開催することができました。

一方でコロナ禍への対処の変化を捉え、感染拡大防止に努めながら第5回 Next Package 展示会は対面での開催に戻して11月に開催しました。出展者は実物を展示し、参加者が手に取り、相互に会話する有意義な場となりました。

新会員獲得を目的に令和4年7月、関西連絡事務所を開設しました。

会費収入は7,860千円と前年度から439千円増加し、事業収入では食品包装学校の収入が6,090千円と大きく、事業収入全体では10,433千円となりました。総支出は予算17,833千円に対し、実績は15,840千円と低減しました。その結果、総利益は予算264千円に対して実績2,454千円と増加しました。今後も経費節減と効果的な費用投入により収益の安定化と会員サービスの強化に努めます。また協会のセキュリティやコンプライアンスへ向上に向けて事務所の移設、ホームページの改修、消費税、電子帳簿法、インボイス制度への対応を進めます。

新しい生活様式、食品ロス、環境問題、資源問題、食品安全などの継続的課題の解決に向けて食品包装に関する情報発信や技術支援、食品包装人材の育成を実施し、会員の皆様、包装業界、社会と生活者の皆様へ、より一層の貢献をしたいと考えております。

会員の皆様方にはこれまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度事業実施詳細

登録会員数移動状況

正会員（団体）

令和4年4月1日	99社
令和5年3月31日	99社 [新規入会4社] [退会4社]
	<入会>・赤松化成工業(株)・三菱ガス化学(株) ・岡田紙業(株)・日本ポリスター(株)
	<退会>・サッポロビール(株)・ユニバーサル製缶(株) ・日本エコリール(株)・ジェイケミカル(株)

賛助会員

令和4年4月1日	9社
令和5年3月31日	10社 [新規入会1社] [退会0社]
	<入会>・アルケマ(株)

正会員（個人）

令和4年4月1日	13名
令和5年3月31日	16名 [新規入会3名] [退会0名]
	<入会>・菊池一弘氏・矢田裕香氏・野田治郎氏

名誉会員

令和4年4月1日	9名
令和5年3月31日	9名

令和4年度実施した諸事業、委員会の状況

定時社員総会	1回（電磁的手法による審議・議決）
包装界合同新年会	*コロナ禍により中止

通常理事会	2回（電磁的手法による審議・議決）
-------	-------------------

諸事業

第1期食品包装学校設立	（5月開校～3月終了式）
会報“食包協”ホームページ掲載	4回（会報174号、175号、176号、177号発刊）
食品包装セミナー	7回（6/22, 7/20, 9/28, 10/26, 12/22, 1/19, 2/21 実施）
食品包装人材育成研修【初級・3日間】	1回（12/6, 12/13, 12/20実施）
第5回Next Package2022展示会	1回（11/24 秋葉原UDXにてリアル開催）
第54回食品包装シンポジウム	1回（2/28 Zoom ウェビナーによる初開催）
食品包装検定	*コロナ禍により中止措置
勉強会	*コロナ禍により中止措置

委員会状況

運営委員会

6回（Web形式による）

各委員会

延べ 30回（Web形式による企画・立案）

令和4年度第1回通常理事会

令和4年度運営方針、令和4年度事業計画・収支予算（案）につき電磁的手法による議決（令和4年5月27日～31日）により、全会一致でご承認頂きました。

令和4年度定時社員総会

令和4年6月23日～6月29日（電磁的手法による議決・承認；正会員117名内、ご答65名、委任52名 計117名）

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支報告承認の件：賛成多数にてご承認頂きました。

第2号議案 令和4年度運営方針(案)、事業計画(案)及び収支予算(案)審議の件：賛成多数にてご承認頂きました。

第3号議案 令和4年度役員改選・各委員会委員一部改選に関する件：多数賛成にてご承認頂きました。

第4号議案 定款の確認及び細則改訂（案）：賛成多数にてご承認頂きました。

第5号議案 報告事項：賛成多数にてご承認頂きました。

令和4年度第二回通常理事会

令和4年度事業活動実施報告・今期収益見込みについて

電磁的手法による議決（令和5年3月28日～31日）：全会一致でご承認頂きました。

実施された事業活動状況

◆会報 4月174号、7月175号、10月176号、新年号1月177号は予定通り発刊されました。

・会報174号（2022年4月発刊）

① 食包協会報 第174号（2022年4月）ご案内（パスワード無）

（一社）日本食品包装協会 評議員代表 北澤 裕明 氏

② 身体を包む「衣」

紙布作家 妹尾 直子 氏

③ 軟包装の循環型社会を考える：PE単一素材包装

ダウ・ケミカル日本(株) ポリエチレン事業部 市場開発マネージャー

宮下 真一 氏

④ 青果物の輸送環境解析および品質評価事例集（第2版）のご紹介

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門

北澤 裕明 氏

松元 美咲 氏

⑤ <新刊紹介>

包装関連研究 論文執筆のための用語集

監修：日本包装学会研究委員会内若手の会

発行所：日本包装学会

・会報 175 号 (2022 年 7 月 発刊)

① 食包協会報 第 174 号 (2022 年 7 月) ご案内 (パスワード無)

(一社) 日本食品包装協会 広報委員 橋本 香奈 氏

② 未来につなぐ試験と計測/見せる信頼—確かな品質

一般社団法人日本試験機工業会 常務理事 富士原 正義 氏

③ プラスチック包装・容器の使用樹脂の特長と成形技術

(1) プラスチック包装・容器の種類と使用材料

一般社団法人日本合成樹脂技術協会 理事 葛良 忠彦 氏

④ 北海道ブロックリーアイスボックス代替輸送検討

三井化学東セロ株式会社 新製品開発室 成田 淳一 氏

・会報 176 号 (2022 年 10 月 発刊)

① 食包協会報 第 176 号 (2022 年 10 月) ご案内 (パスワード無)

(一社) 日本食品包装協会 広報委員 笹生 勝也 氏

② プラスチック包装・容器の使用樹脂の特長と成形技術

(2) プラスチック包装・容器の構成と製造方法

一般社団法人日本合成樹脂技術協会 理事 葛良 忠彦 氏

③ レーザー印字フィルム「レザイア™」の開発

東洋紡株式会社 パッケージング事業総括部

犬山フィルム技術センター リーダー 石丸 慎太郎 氏

④ (公財)日本植物調節剤研究協会のご紹介と活動取組み等について

公益財団法人日本植物調節剤研究協会 研究所 所長 濱村 謙史朗 氏

⑤ 学術論文の査読について

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

食品部門 北澤 裕明 氏

・会報 177 号 (2023 年 1 月 発刊)

① 食包協会報 第 177 号 (2023 年 1 月号) ご案内 (パスワード無)

(一社) 日本食品包装協会 広報委員 吉田 恵理 氏

② 2023 年の年頭にあたってのご挨拶

(一社) 日本食品包装協会 理事長 石谷 孝佑 氏

③ パン産業の成長・発展に貢献する

一般社団法人日本パン技術研究所 専務理事 宮崎 健 氏

④ SIAL Paris 2022 (フランス国際食品見本市) の参加報告

農研機構 食品研究部門 食品流通・安全研究領域

流通技術・新用途開発グループ 荒木 悦子 氏

⑤ 第 5 回 Next Package2022 ～人と技術の交流が未来を包む～を振り返って

◆食品包装学校 (予算 33 名、受講者 33 名) 第 1 期 5 月に開校しました。

《開校式》令和 4 年 5 月 11 日(水)9:30~17:00 Web 開催 (協会事務所にて)

- 学校長挨拶
- カリキュラムの説明とオリエンテーション
- ・ 5 月 : ●食品包装学体系と関連技術分野、食品包装概論
- 金属・ガラス容器概論
- ・ 6 月 : 『食品用プラスチック包装資材』(包装資材①)
- ポリオレフィン包装資材の特性と用途
- ナイロン・ポリエステル of 特性と用途
- ハイバリアープラスチックフィルム
- JIS にみる包装資材とその理化学特性評価
- ・ 7 月 : 『包装資材と包装設計』(包装資材②)
- プラスチック容器の加工と利用
- 紙を用いた包装容器概論
- 段ボールの種類と特性 輸送包装設計概論
- 世界の包装食品と包装産業の動向
- ・ 8 月 : 『食品の水分と微生物制御』(食品の品質・特性と包装①)
- 食品包装は微生物との戦い
- レトルト食品と包材と殺菌プロセス
- 無菌包装システムと包材
- 食品包装の脱ガラパゴス化への挑戦
- ・ 9 月 : 『食品の酸化・変色・匂いの変化』(食品の品質・特性と包装②)
- 食品の酸化・変色とその防止と包装
- 食品包装は酸素との戦い
- 食品の水分・匂いの変化とその防止と包装
- インテリジェント包装・IC タグの活用と IoP
- ・ 10 月 : 『多水分・中間水分・乾燥食品の品質変化と品質保持』
(食品の品質・特性と包装③)
- 青果物を中心とした包装・流通技術
- 日配食品・惣菜類のロングライフ化と包装技術
- 中間水分食品の品質保持と包装
- 包装機械とデザイン・印刷
- ・ 11 月 : 『機能性包装資材・副資材の食品への応用』(包装資材③)
- 乳・畜製品の品質特性と品質保持・包装
- 菓子類の品質特性と包装

- 乾燥食品の加工・防湿包装、品質保持
- 食品包装の未来予測
- ・12月：『食品安全と包材の安全性』
 - 発酵・熟成食品の包装
 - 食品安全認証の基本的な考え方
 - ユニバーサルデザイン、アクセシブルデザインと食品包装
 - 包装デザインと印刷
- ・1月：『食品包装と法規制』
 - 包装資材の安全性の考え方とポジティブリスト制度
 - 食品表示と包装の表示問題
 - 包装資材を巡る環境関連法規制と利用の現状
 - 炭素税とカーボンフットプリント、LCAと食品包装
- ・2月：『食品包装と環境問題』
 - 環境配慮包装の種類と用途
 - プラスチック・リサイクルと用途開発
 - 食品包装と地球環境問題
- ・3月：■食品産業と食品包装の発展の歴史

《修了式》令和5年3月15日(水)14:00～（北とぴあにて）

 - 食品包装学校長の挨拶と公表
 - 修了証書の授与
 - 成績優秀者表彰
 - 交流会（マスク会食）

◆人材育成研修初級講座（予算35名、受講者60名）予定通り実施されました。
 開催日時：令和4年12月6日(火)・12月13日(火)・12月20日(火)の3日間
 場 所：オンライン開催『Zoom Pro』でのライブ配信
 内 容：講師15名による食品包装関連初級講座

◆食品包装セミナー（予算320名、受講者240名）年7回WEBで実施されました。
 ・第1回食品包装セミナー：2022年6月22日(水)実施
 講演名：『焼却処理困難廃棄物の電炉処理における有効性について』
 講演者：JFE条鋼(株) 資源リサイクル部長 佐々木 雅孝 氏

- ・ **第2回食品包装セミナー**：2022年 7月20日(水)実施
 講演名：『『GREEN PACKAGING モノマテリアル包材 PP アルミ蒸着について』』
 講演者：大日本印刷(株) 研究開発・事業化推進センター事業開発本部
 長尾 麻理子 氏
- ・ **第3回食品包装セミナー**：2022年 9月28日(水)実施
 講演名：『『食の未来と3Dフードプリンター開発の現状について』』
 講演者：大和製罐株式会社 総合研究所 所長 赤地 利幸 氏
- ・ **第4回食品包装セミナー**：2022年 10月26日(水)実施
 講演名：『『農畜産物・食品の輸出拡大の戦略とコロナ禍の影響について』』
 講演者：農研機構 NARO 開発戦略センター 主席研究員 鈴木 貴之 氏
 主任研究員 小柴 太一 氏
 食品研究部門 食品加工グループ 研究員 長屋 美玖 氏
- ・ **第5回食品包装セミナー**：2022年 12月22日(水)実施
 講演名：『『パッケージとカラーユニバーサルデザイン』』
 講演者：東洋インキ株式会社 鈴木聖矢 氏
- ・ **第6回食品包装セミナー**：2023年 1月19日(木)実施
 ① 講演名：『『分別塗工ラミネート方式による新規無溶剤型接着剤(DUALAM)の開発』』
 講演者：DIC 株式会社パッケージ技術本部パッケージ技術1G 新居 正光氏
 ② 講演名：『『DICの考えるポリスチレンの完全循環型社会の実現』』
 講演者：DIC 株式会社パッケージングマテリアル製品本部長付 内田 慶一氏
- ・ **第7回食品包装セミナー**：2022年 2月21日(火)実施
 講演名：『『メカニカルリサイクルとケミカルリサイクルの海外最新動向について』』
 講演者：株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン 森 泰正 氏

◆**第5回 NextPackage2022 リアル展示会**が実施されました。

日 時：2022年11月24日(木) (10時～17時)

場 所：UDX 秋葉原 NEXT-1

展示会テーマ：『～人と技術の交流が未来を包む～』

* 出展頂いた企業は、包装資材メーカー：16社、食品メーカー：7社
 その他：包装専士会、日本食品包装協会

* 来場者数：一般参加者187名、出展者からの参加者78名 計265名

・ 事前登録者通りの参加者人数であった。

◆**実施されなかった事業**

・ 第8回食品包装セミナー／・食品包装検定／・勉強会／・見学会